

2014 年度協豊会企画委員会「スタッフの自工程完結」キックオフ開催の件

6月3日、サプライヤーズセンター2Fにおいて、「スタッフの自工程完結」キックオフを開催いたしました。トヨタ自動車から、TQM推進部自工程完結推進室大口室長様、大浦地 GM 様、松林プロフェッショナルパートナー様、田中チーフエキスパート様のご参加を頂き、20社22名のメンバーで行いました。

最初に大口室長様から

- ① 成果物を造る活動でなく、良かったと思う活動にする
- ② 各社のレベル差を「Give&Take」で縮める
- ③ JKKは「標準を作る」ことでなく、「良い仕事をする」ことである
- ④ 進捗のマイルストーンをつくる
- ⑤ KPIも検討する必要がある

とのお話がありました。

活動体制・計画の説明後に、第1回チーム会議へと移り、3チームに分かれ、メンバーの抱えている「困りごと」「期待すること」から、活動方針を熱心に協議しました。

関東チーム；メンバー各社の活動推進を主体とした協力支援とし、最後に、「マネジメント向けビデオ」を制作する。

中部Aチーム；全員が新規メンバーなので、理解度アップを主眼とする。

困りごとの情報交換から、自社活動へ繋げる。

中部Bチーム；導入教育の開催によるレベルアップ

推進リーダーの役割機能について、マネジメントの関連から検討。

後半は、実践活動を開催する。

今後、毎月チーム毎に活動することにいたしました。

